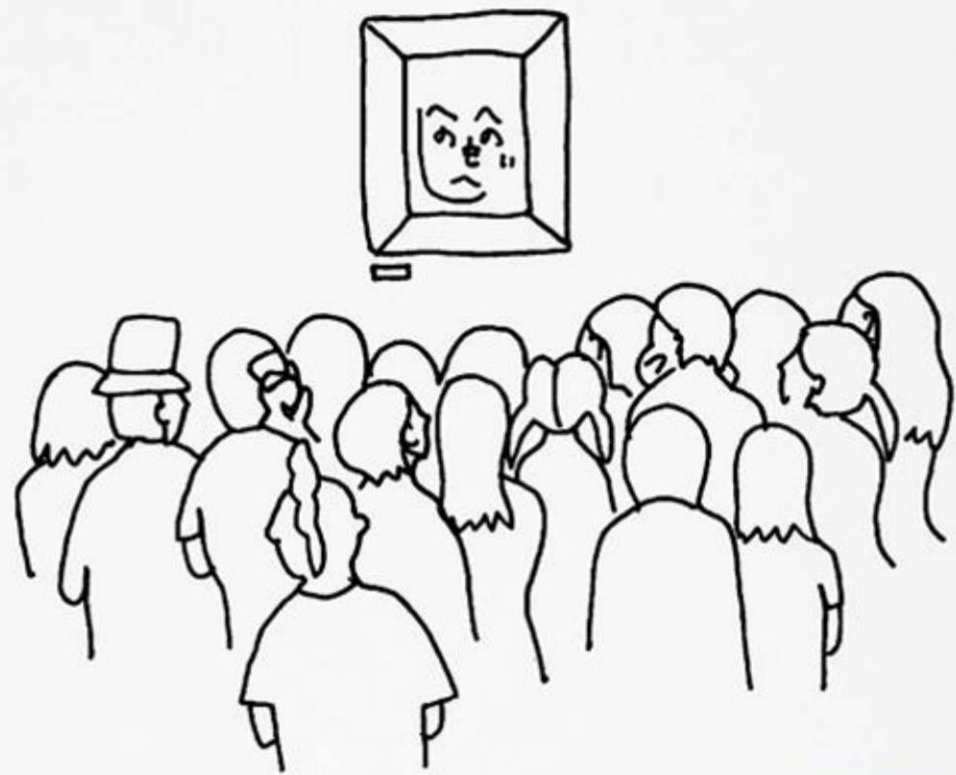


今日も、名もない人たちが、
“わざわざ”作品をつくっている。



僕らにとって、アートってなんだろう？
小瀬村先生、教えてください。

私は、ひとりの作家として、絵画と映像の接点をテーマに
作品制作をしています。その実感を持って思う、
アートのおもしろいところは、誰にも頼まれなくても、
観てくれる人がいなくても、わざわざつくることだと思うんです。
途方もない時間をかけて、面倒なセッティングをして、
お金だって費やして。つくりたいから、つくる。
それは世界の名作でも、名もない人の作品でも同じです。
そんな純粋な作品を、人がわざわざ足を運んで見に行く。
そして、少しの間、日常の枠やありふれた視点から解放される。
そこにアートの価値があると思っています。もし日常にちょっと
疲れたりしたら、アートにふれてみてください。ぜひ、わざわざと。

(芸術学科 講師 小瀬村真美)

和光
3分
大学



現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学